

Lion

IWATE

2019.4



332-B地区 アクティビティスローガン

福祉に貢献 We Serve

3.11 東日本大震災慰霊碑 周辺の整備・参拝報告

陸前高田LC会長 L. 熊谷 千洋

今年もまたこの時期がやってきました。8回目の3.11……。

思い起こせば、8年前のあの日も小雪が降る寒い日でした。町の中心地にあった当社も大きく揺れ、あたりの物はぐちゃぐちゃに崩れ落ちて足の踏み場もないほどでした。

揺れが収まってから防災無線の津波警報を聞き、取りあえず社員に高台へ行くようにと避難指示を出し、最後に自分も会社を後にしました。お陰様で一人の犠牲者も出さずに済んだのです。

さて、本題に入ります。早朝よりの暴風雨で以前から予定されていた東日本大震災による慰霊碑の清掃活動と献花は出来るのだろうかと心配されましたが、とにかく現地へと急ぎました。さすが我らライオンズの仲間早い。数人が来ていてすでにテントを張り、準備万端となっていました。

だが、この雨では掃除は無理か。でもそれを見越してか近くに住む会員が事前に掃除や片づけを済ませていて、後はガバナーがいらっしゃるのを

待つだけとなっていました。

私が現地に着いたのと同時に猿舘ガバナーと館澤キャビネット幹事も到着。そして予定通り9時ごろ献花式を執り行うことが出来ました。

私とガバナーが代表で献花し、全員が順番に慰霊碑に手を合わせ、残念ながら被災して亡くなられた22名の同志のご冥福を祈りました。

各会員がそれぞれの同志に思いを馳せながら心を込めて手を合わせた事と思います。この8年間に新しく会員になられた方々の中には故人を知らない方もいると思いますが、この碑を毎年参拝、献花し、永遠に継続していくためにも数多くの会員の皆様に参拝して頂きたいと願うところです。

最後に、雨の中での献花ではありましたが、慰霊碑の周りには桜や100年記念樹などが植えてあり年間何度か草刈りなどの清掃活動も行い、きれいに整備しておりますので、是非皆様にも一度参拝して頂きたいと思います。



猿舘ガバナーが献花・参拝



献花を終えて

3.11東日本大震災 犠牲者追悼式を終えて

釜石LC会長 L. 大和田 助康

あの忌まわしい東日本大震災から早いもので8年。今年もまた、3月11日がやってきました。

雨が降り・冷たい風…あの日と違うのは、雨と雪の違いだけ! 思い出だけで“心が痛む”。

それでも毎年、3月11日には、慰霊碑に語りかける。“私はあなた方を忘れない”

今年もまた キャビネットより、L. 猿舘伸俊地区ガバナー、L. 館澤繁信キャビネット幹事、和賀LCよりL. 高橋寛、L. 佐藤久幸はじめ5名のメンバーが参拝に来ていただきました。

私、L. 大和田と幹事のL. 只野は、市主催の追悼式典に出席、その他、数名は、各方面主催の慰霊祭に出席、その為、我がクラブは10名程度が大平墓地公園「慰霊碑」にて追悼。

献花・お線香をあげ、全員で合掌。地震発生時刻の14時46分、サイレンと同時に海に向かって黙祷。

ただ、今年は雨風が強く清掃活動・花壇整備は中止としましたが、L. 佐々木光寿が2日間かけ清掃・花壇整備を行い、きれいに仕上げてくださいました。

慰霊碑建立について少しお話いたします。

和賀キャビネットの時、当時の地区ガバナー

故L. 高橋晴彦より、年次大会記念事業として陸前高田LC・釜石LCへ慰霊碑建立の申し出がありました。

大平墓地公園慰霊碑は当クラブのL. 佐々木光寿が制作。震災にて亡くなられたメンバーの遺族より、津波で被災した自宅の庭石のご提供があり、建立実現。三陸海岸をイメージした立派な慰霊碑が出来上がりました。

庭園・花壇については、釜石レオクラブ・釜石商工高校の生徒達が担当し、6年前の世界アースデーに記念植樹、3年前には、京都園部LCより梅苗の木のご支援があり植樹。今時季は、紅梅がきれいに咲いております。

お陰様で毎年、全国のライオンズメンバーが釜石に立ち寄った際には、参拝頂いております。

来年以降も、3月11日は、忘れず清掃・参拝を行いたいと思っております。

是非、都合のつく方は、釜石・陸前高田迄足を運んでいただければ、津波で犠牲になられたメンバーも喜ぶことと思います。よろしく願い申し上げます。

平成31年3月11日 14時46分 合掌



海に向かって黙祷



美しく整備された大平墓地公園慰霊碑

「会員の増強」について ～退会防止の工夫・女性会員の増強

3月号に続き、今年度332-B地区ガバナー重点目標をテーマに、各クラブの活動状況をお聞かせいただく特集です。今月は重点目標の2番目「会員の増強」、地区内で会員増がみられたクラブに執筆をお願いいたしました。

会員増強からアクティビティの活性化へ

盛岡南LC会長 L. 菊田 隆

当盛岡南ライオンズクラブでは昨年7月、19年ぶりに2人目のガバナーを排出しました。ガバナーに就任されたL. 猿舘伸俊は、これまでもクラブ会員の増強に尽力されてこられました。ガバナーになられたことでよりその気持ちが一層高まり、先頭に立って頑張られました。そのお姿に、我々会員も強い刺激を受け、各々が会員増強に努力した結果、お蔭様で平成31年1月30日現在85名（正会員44名、終身会員2名、賛助会員11名、家族会員28名）が在籍、昨年6月に較べて12名の増加となりました。会長として、会員増強に尽力された一人一人の会員の皆さんに心から感謝いたします。

人数が増えても例会や日頃のアクティビティが活性化していなければ意味がありません。今年度は例年行っているアクティビティに加え、視覚障害者の方々へボランティアをする為のハンディキャップ研修(平成30年12月於ふれあいランド)や薬物乱用防止教室の開催(平成30年10月於上田中学校)等新しいものに取り組んだこと、聴覚支援学校に短焦点プロジェクターを寄贈するなど支援をひろげたことにより私たちも大きな成果を得ました。

また、例会は楽しくなければなりません。クラブの人数が多い分、特に新会員は先輩ライオンの顔と名前を覚えるのが大変だと考え、昨年7月からクラブ特有のネームプレートを作り、例会時に付けるよう義務づけました。例会の席もくじ引きとし、多くのライオンと接する事ができる様にしました。

時代をうまく繋いでいく為にも、入会2、3年目のライオンにテールツイスター、ライオンテーマー、



薬物乱用防止教室
10月30日 上田中学校



ハンディキャップ体験
12月2日 ふれあいランド



短焦点プロジェクターを寄贈
3月11日 岩手県立盛岡聴覚支援学校

各委員長等を任せ、活躍していただいています。そして女性会員は現在11名（正・賛助会員）いますが、第2副会長が女性な事もあり、少しずつですが増えている状況で喜ばしく思っています。

いずれにせよ各ライオンが盛岡南ライオンズクラブの会員になって良かった、誇りが持てるクラブであるよう、これからも頑張ってお参ります。

皆で汗をかく奉仕活動の一体感が退会防止の一助に

二戸LC会長 L. 清川 悦子

前年度の会長、幹事が一年かけて新会員の勧誘を続けた結果、7月に正会員3名、家族会員2名、賛助会員1名が入会しました。入会式はそれぞれ印象深く行いました。忘年会には新家族会員を紹介し、温かい拍手で迎えました。納涼会、忘年会そして今年2月の長寿祝いには家族会員も参加し楽しい会になりました。

家族会員の入会は新入会員や役員のお奥様にお願いすると年会費5,000円なので快く了解して頂けます。しかし女性の正会員は今まで自分一人だけです。

会費14万円ではなかなか入会を勧める事ができずにおります。

3月までの退会者が無くこられたのは、会員の皆様のお陰です。皆で汗をかく奉仕をモットーに活動してきた事が退会防止の一助になったと思います。

今後特に女性の正会員を増強する為には、経営者に限らずボランティア活動が続けている方へのアプローチと、会費の値下げが必要だと考えておりますが、現状でもクラブの経営はかなり厳しく、打開策を見つけられない状態です。



国際地球デー 清掃奉仕

歴史ある奉仕活動を誇りにさらなる飛躍を

盛岡LC会長 L. 伊藤 完治

盛岡ライオンズクラブは今年で59年になります。

現在の我がクラブの平均年齢は61歳、正会員37名、家族会員23名であります。最盛期と比べて高齢化と会員の減少が著しい状況であります。1960年代に始まった盛岡市の寒冷地藪川地区の小・中学生の「すずらん給食」が我が盛岡ライオンズの大きな奉仕活動であります。これが、わがクラブのL字の誇りであ



緑生園・盛岡ラグビースクール支援事業

ります。多くの先輩が築き上げた数々の地域社会に対する奉仕活動を引き継ぎ、次の世代に向けさらに発展させて参ります。

3月11日、東日本大震災の被災から8年になります。被災地には、国内、海外のライオンズ仲間から物品、人的、お金等多くの支援を頂き励まされました、本当に感謝の気持ちであります。昨年は国内の自然災害が続き、まだまだ被災された方々のためにライオンズの奉仕活動が大きいと考えます。そのためにも、ライオンズの仲間が気持ちを共有し、会員拡大に取り組みたいと思います。国際協会が掲げる人類の福祉に貢献することを目的とした、LCIFキャンペーン100ドル献金に取り組み、そして7月には我が盛岡ライオンズクラブL. 平野喜嗣が332-B地区ガバナーに就任予定です。時代が平成から新しい元号となる時に我がクラブが来年の春に60周年を迎えます。盛岡ライオンズクラブが明るく、大きく飛躍のチャンス之年と考え、毎月例会後の懇親会等で絆を深め退会防止と若い40～50代の男性、女性の新規会員獲得のために各会員それぞれの人脈に地道に声掛けをお願いし、今後正会員2名の増員を目指しております。

女性会員増強に向け様々な取り組みを続行

盛岡不來方LC会長 L. 佐藤 昌彦

当盛岡不來方ライオンズクラブ（以下「当クラブ」という。）においても、「会員の増強」を今年度の大きな重点目標に掲げ、取り組んできているが苦戦している。

当クラブでは、前年度からの継続的な努力で今年度早々7月に3名の入会を実現できた。さらに上積みを図っていこうと、ガバナー公式訪問を終えた9月初めに会員増強（GMT）戦略会議（以下「戦略会議」という。）を発足、現在まで11回の会議を開催し戦略を練り、様々なルートから候補者に接触してきたがその後は苦戦を強いられている。ただ、アクティビティや例会運営の工夫等もあり幸いにも退会者は出ていない。

現在のグドラン国際会長は101年目にして初めての女性会長ということもあり、戦略会議に置いた2名のアドバイザーのうち1名を女性担当アドバイザーとし、当クラブへの女性会員入会実現も目指してきた。11月に盛岡観武ライオンズクラブをお願いしヤマト・なでしこ支部を訪問、2月には西根ライオンズクラブをお願いしライオネスクラブに例会訪問、勉強を重ねているところである。

会費の問題もあり、実現には支部の創設が早道かとも感じ始めているが、これからも当クラブへの温かいご協力をお願いしたい。



暴力団追放街頭キャンペーン

短焦点プロジェクター贈呈式

2019年3月11日 岩手県立盛岡聴覚支援学校

盛岡南LC視聴力保護保健福祉委員会委員長 **L. 石原 敏行**

去る3月11日(月)、盛岡南ライオンズクラブより、岩手県立盛岡聴覚支援学校に短焦点プロジェクターを寄贈するため、贈呈式を行いました。視聴力保護保健福祉委員会の活動として、学校の要望を聞き購入したものです。

学校敷地内に入ると、道路の両脇には、近き春を待つ桜の枝に、名も知らぬ小鳥達がさえずり、羽根を休めている。小鳥たちも春が待遠しいのであろう。さかんに飛び交っている。春は希望、春は栄光だ。

生徒たちは晴れの日も、雨の日も、寒風が肌を刺す日も、猛暑の夏も、友と語り合い歩いたこの道。一人一人の脳裏に懐かしい日々が蘇るであろう。

東日本大震災から8年。復興は進んでいるようだが、今も仮設住宅に住む人がおられる。現地の方々の苦労をもっと知り、思い浮かべると、復興は終わっているのではないかと思われる。まだまだやることのあるのではないだろうか。今日は、ここ岩手県立聴覚支援学校で3.11集会が行われている。その後、園児・児童・生徒が参加する中、「短焦点プロジェクター」の贈呈式が開催される。

学校に入り、会場に案内されると、行き交う生徒たちが礼儀正しく挨拶をしてくれた。日頃の先生達の細かい指導が行き届いているのであろう。

贈呈式が始まった。石川敬校長先生から、「短焦点プロジェクターは短い距離で壁やスクリーンに投影でき、学校にとっては大切な機材である。感謝して大切に使っていききたい」とお話があった。また、菊田会長は挨拶の中で、「このプロジェクターを、勉学に役立てて頂けると嬉しい。皆さんが大人になった時、ライオンズクラブで共に活動したい」などと語った。

明日は卒業式だと伺った。これまで学んできたのは、何の為、誰の為なのかをよく考え、社会に出て行ってほしい。若者には無限の未来がある。獅子王のようにたくましく、若鷲のように、雄々しく羽ばたいてほしい。自分の幸せを願うなら、まず、困っている周りの人を励まし、悩み、苦しみを楽しみに変えさせてあげる。マイナスをゼロに戻すだけではなく、プラスに変えていく力を身につけて頂きたい。私達ライオンズクラブは君達の活躍を待っている。



石川校長(右)に目録を渡す菊田会長



寄贈された短焦点プロジェクター



盛岡タイムス 3月12日掲載記事

ガバナー自己紹介コラム

秘蔵コレクションの御紹介

地区ガバナー L. 猿舘 伸俊 (盛岡南LC)

会員の皆様、4月となれば「春眠 暁を覚えず…」の通り心地よい季節になり、又、新たに年度替わりと同時に年号が発表されます月に、私事、ガバナーのコレクションという事で恥を顧みず所蔵の絵画を紹介します。

まず最初に私が油絵を手にしたのは、岩手県議会議長であり橋本美術館館長であった橋本八百二画伯の「焼き片富士」で15号から100号の大作までを4枚が始まりでした。それから手にしたものの中で特筆すべきものは、

・版画家 棟方志功

(文化勲章受章者 国際展最高賞)

ニューヨークや青森在住時の作品の原画20号

・福沢一郎画伯 (平成3年文化勲章受章者)

油絵13号「バラとジュピターの壺」

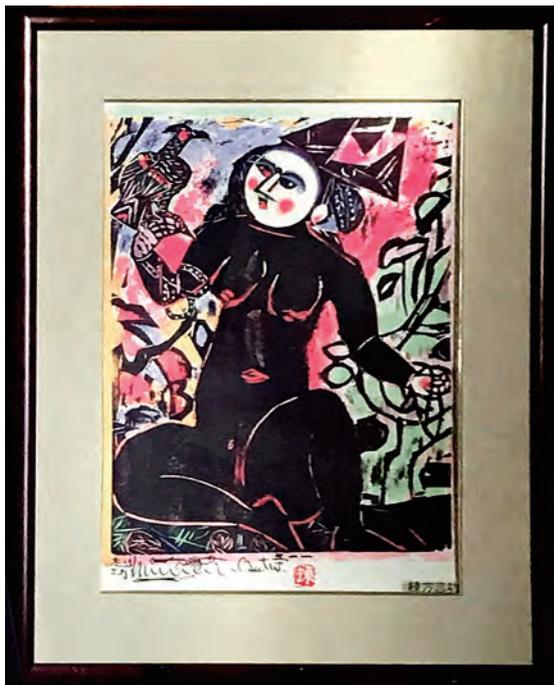
・森田茂画伯 (勲三等瑞宝章、文化勲章受章者)

「赤富士」

・濱田臺兒画伯 (内閣総理大臣賞、日本芸術院賞受賞)

油絵20号「富貴花」

前回の「ガバナー自己紹介コラム」では船釣りの話題、アウトドア派のイメージでしたが、今回は所蔵の素晴らしい絵画の数々をご紹介いただき、芸術にも造形の深い、新たなプロフィールを拝見できました。掲載した作品はコレクションのほんの一部とのこと、機会があればぜひまたご披露いただきたいと思います。
(編集委員会)



棟方志功「鷹持妃の柵」



棟方志功「鐘溪頃 唐衣の柵」



福沢一郎「バラとジュピターの壺」



鶴田孝治 水彩画「岩手山冬景色」



濱田臺兒「富貴花」



藤井勉「少女、秋子」



森田茂「赤富士」



藤井勉「鳥かご」

「ライオンズクエストは生きる力」 Lions Quest ライフスキル教育プログラム

校内型ワークショップ／2019年1月9日・3月19日 盛岡市立仙北中学校
セミナー／2019年3月22日 アイーナ

地区ライオンズクエスト委員長 **L. 鈴木 耕平**（盛岡中津川LC）

昨年12月の盛岡市立上田中学校でのワンデイ・ワークショップに続き、1月9日と3月19日スプリット日程でのワークショップを盛岡市立仙北中学校で開催しました。1日目は28名の受講、2日目は20名が受講しました。講師は戸川澄子さん。ワークショップは体を動かすエネジャイザーで始まり、心も体もほぐれたところで本編に入ります。最後には模擬授業をやり終了となります。校内型のワークショップですから同じ職場の先生達がコミュニケーションを深め信頼関係が構築されていくのがわかります。12月是一日で時間が足りない

感じましたが、今回は日程の間隔が開きすぎたので、できれば続けて二日間の開催が望ましいと思います。模擬授業では、問題と解決法を短時間でうまくまとめて素晴らしい展開となり、クエストプログラムの内容に感心しました。

1月9日は同校で同時開催セミナーも実施。参加者は市内の小中学校4校から5名の教育関係者とライオンズメンバーが10名参加しました。JIYDの鈴木美佳さんが講師となりエネジャイザーを含む体験会を短時間で行い、楽しくあっという間の2時間でした。後日受講者の所属する中



仙北中学校ワークショップ（1月9日）



仙北中学校セミナー（1月9日）



4班に分かれて「模擬授業」の準備風景（3月19日）

学校から7月のワークショップ開催の申し込みがありました。

3月22日はセミナーをアイーナで開催しました。こちら鈴木美佳さんが講師となり教育関係者、ライオンズメンバー合計40名が受講。ライオンも班ごとに実践的な発表を体験し、予想以上に盛り上がりを見せました。こちらの受講者からもワークショップ開催の申し込みがあり、セミナーの具体的な効果が確認されました。

ライオンズクエストとは何でしょう。「ライフスキル教育」のことです。では、「ライフスキル」とは何でしょう。「生きる力」のことです。

生きていればいろいろな困難に遭遇します。悩みます。何とかしようと考えますが、不安でいっぱいです。そんな時の解決方法をどうして学校で教えてくれないんだろう。問題にぶつかったときの解決能力が必要です。それを解決に導くのが「ライフスキル教育」です。

ライフスキル教育は不登校、中退、いじめ、自

殺の防止に効果があると確信します。沖縄県宮古島市では、行政とともに「教育の基本はライフスキル教育」と決め、全教員にワークショップを受講していただく計画だそうです。

コミュニケーション能力や問題解決能力は社会人にも必要な能力です。ライオンズクエストプログラムでライフスキルを身につけることができれば、「子供が変わる」「学校が変わる」その子供たちが社会に出て「会社が変わる」「社会が変わる」可能性があります。国際的に世の中が良くなる。ライオンズクラブが世界に貢献できる素晴らしいアクティビティだと思います。

また、職場でも応用できるライオンズクエスト・ビジネス版の連想がわきました。企業活動の問題を解決に導くことができるのではないかと。

また、世の中が変われば、他のアクティビティが不要になるほどの効果も期待できると思います。ライオンズクエストだけやっていたい気持ちになりました。



模擬授業風景 (3月19日)



セミナー 班ごとの発表の様子 (3月22日)

私達のクラブを紹介します

住田LC会長 L. 菅野 浩正

住田ライオンズクラブは、1973年3月陸前高田ライオンズクラブをスポンサークラブとして結成し、今年で47年目を迎えます。会長テーマは、「奉仕の心大切に 前進しよう」です。

毎月の例会日は、第一例会が第1金曜日の12時10分から、第二例会が第3金曜日の夜6時30分からとし、出席しやすい形をとっています。12月第二例会はクリスマス家族会として実施し、プレゼント交換などを行っています。

町民のだれもが認めるライオンズクラブの奉仕活動を目指して、今年度は以下の活動重点目標を掲げています。

1. クラブの組織強化と健全運営
2. 復興支援
3. 青少年の健全育成支援
4. 交通安全の推進と自然環境の保全活動
5. 高齢者の福祉支援活動
6. 献血推進 などです。

7月からの新体制でスタートし、ライオンズの森、ツツジ園の草刈りを実施しました。活動日を第二例会日に合わせ、作業後の慰労会も兼ねて開催しました。

9月に秋の交通安全週間に合わせて町内4カ所の交差点、横断歩道に立ち、小、中学生の通学を見守りながら、交通安全協会の方々と共に街頭指導に当たりました。

9月に2回目のライオンズの森の草刈り作業をし、9月27日、世田米保育園児77名、10月3日、有住保育園児46名が栗拾い体験を行ないました。

10月に高齢者福祉活動として、住田LC会長杯グラウンドゴルフ大会を開催しました。64名の町民が参加し、健康の増進とスポーツ交流に励みました。

11月に、住田町福祉大会と住田町老人クラブ大会「大樹祭」が合わせて開催され、その席上住田町社会福祉協議会と特別養護老人ホーム「すみた



7月 世田米地区和山・ライオンズの森の草刈り作業

庄」に各5万円を寄付しました。

12月21日、世田米・有住両保育園でクリスマス会が開催され、3名づつ2班に分かれサンタクロース役で訪問しました。クリスマスプレゼントを配り、楽しいジングルベルのダンスをして交流を深めました。

2月1日には両保育園を訪問し、節分の豆まきに赤鬼青鬼役として参加しました。

このほか青少年育成活動として世田米中学校と有住中学校に運動用具の支援、音声訳ボランティア

ア「リボンの会」への支援、献血協力者へのティッシュボックスの配布活動を行っています。

復興支援活動としては、おおふなと市新夢商店街の「バルウォーク祭」の支援を行いました。

年間活動計画に沿って活動し、会員相互の連携を図り親睦を強めていきたいと思ひます。会員の高齢化が進んでいますので、新入会員の勧誘が課題です。今任期中に会員の増強に努めたいと思ひます。



10月 住田LC会長杯グラウンドゴルフ大会



10月 有住保育園の栗拾い体験



12月 世田米保育園のクリスマス会



2月 有住保育園で節分の豆まき



中学校2校に活動資金を贈呈する菅野浩正会長（写真中央）

3月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	—	
盛岡不来方LC	5日	第30回みちのこども療育センター「不來方ライオンズ文庫」へ図書寄贈
	28日	LCIF献金 キャンペーン100
	28日	アイバンク登録
盛岡中津川LC	14日	ひかりの箱募金
	1月9日・3月19日	[Lions Quest ライフスキル教育プログラム] ワークショップ
	27日	LCIF献金 キャンペーン100
盛岡観武LC	3日	こども食堂
	6日	直接献血
	～7日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト ポスター展
盛岡南LC	27日	LCIF献金 キャンペーン100
	11日	盛岡視覚支援学校に短焦点プロジェクター寄贈
	～23日	東日本大震災完遂支援 大槌駅に大型テレビ寄贈
滝沢LC	8日	新設滝沢中央小学校と市内小学校に図書購入費寄贈
玉山姫神LC	—	
1R2Z		
二戸LC	19日	LCIF\$1000献金
	19日	アイバンク登録
	27日	暴力団追放二戸地区区民会議
西根LC	14日	八幡平市平舘小学校と西根一中に図書寄贈
	7日	LCIF献金 キャンペーン100
安代LC	14日	ひかりの箱募金
2R1Z		
花巻LC	11日	ひかりの箱募金
	27日	三陸鉄道全線開通に伴う応援乗車
紫波LC	15日	ひかりの箱募金
石鳥谷LC	1日	花北青雲高等学校卒業式
	12日	石鳥谷中学校卒業式
花巻東LC	20日	レディース委員会 手作り作品制作
	27日	三陸鉄道全線開通に伴う応援乗車
東和猿ヶ石LC	—	
矢巾LC	6日	矢巾駅に「雨傘50本補充」
	14日	すくすくネットワーク巡回指導
2R2Z		
北上LC	2月	資源回収リサイクル
	8日	LCIF\$1000献金
	～12日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	14日	中古眼鏡リサイクル収集
	15日	ひかりの箱募金
	28日	薬物乱用防止啓発セミナー
和賀LC	2日・14日	資源回収リサイクル
	13日	ひかりの箱募金
	15日・27日	献血推進活動 3箇所
	20日	使用済み切手 9500枚送付
	22日	LCIF献金 キャンペーン100
北上国見LC	13日	ひかりの箱募金
	24日	献血推進活動
	26日	LCIF献金 キャンペーン100

江釣子LC	9日	こども食堂
	10日	献血推進活動
	11日	東日本大震災犠牲者8周年追悼式
	14日	ひかりの箱募金
	14日	集団資源回収事業補助金(事業資金獲得)
	15日	資源回収
3R1Z		
水沢LC	3日	献血推進活動
江刺岩手LC	9・10日	第18回江刺岩手LC旗中学生バレーボール大会
前沢LC	17日	献血推進活動
	14日	前沢小学校皆勤賞授与式
	21日	ボランティア3団体に寄付金贈呈
	29日	使用済み切手 1300枚送付
水沢中央LC	13日	ひかりの箱募金
	22日	使用済み切手 18397枚送付
金ヶ崎LC	12日	ひかりの箱募金
	12・15・18日	小学校6年無欠席・小中通算9年間無欠席表彰
	16日	金ヶ崎立第一小学校卒業証書授与式参列
胆沢岩手LC	4～12日	奥州市胆沢内の小中学校優良児童生徒表彰
3R2Z		
一関LC	15日	ひかりの箱募金
平泉LC	4日	献血推進活動
	7日	ひかりの箱募金
花泉LC	12日	新入学児童ヘランドセルカバー贈呈
一関中央LC	1日	新入学児童ヘランドセルカバー贈呈
	5日	LCIF\$1000献金
一関厳美溪LC	—	
4R1Z		
千厩LC	1日	新入学児童へ黄色いランドセルカバー贈呈
	5日	献血推進活動
	14日	ひかりの箱募金
	15日	LCIF献金 キャンペーン100
大東岩手LC	5日	新入学児童用ランドセルカバー贈呈
	11日	東山小学校出前寄席
東山LC	13日	ひかりの箱募金
	11日	東山小学校出前寄席
	13日	新入学児童に黄色い帽子とランドセルカバー贈呈
藤沢岩手LC	1日	町内幼保施設の園児にひなあられ贈呈
	14日	ひかりの箱募金
川崎岩手LC	5日	直接献血
	25日	LCIF献金 キャンペーン100
室根LC	12日	室根小学校新入生ランドセルカバー贈呈
	14日	ひかりの箱募金
	22日	LCIF献金 キャンペーン100
	18日	室根こども園卒園式
	19日	室根西小学校卒業式

4R2Z		
大船渡LC	16日	LCIF\$1000献金
	26日	声の図書館点検と整備
	26日	せきれいの会協力金
陸前高田LC	8日	ひかりの箱募金
	11日	鎮魂の碑清掃・献花
	11日	陸前高田市東日本大震災追悼式
住田LC	—	
大船渡五葉LC	2月16日	東海社会文化事業基金顕彰式
	8日	輪楽い配達寄席in大船渡
5R1Z		
宮古岩手LC	3日	第33回ライオンズ旗争奪剣道大会
久慈LC	24日	桜の木テングス病駆除作業
陸中宮古LC	3日	第33回ライオンズ旗争奪剣道大会開催
	7日	スポーツ文化振興基金表彰式
	11日	震災慰霊法要 鎮魂の夢あかり
	13日	第2回インバウンドセミナー
	31日	子育てサポートセンター「クワナの家」開所記念式典
田野畑LC		田野畑中学校卒業生に記念品贈呈
	22日	LCIF献金 キャンペーン100
岩泉龍泉洞LC	—	
5R2Z		
釜石LC	1日	釜石商工高校卒業式出席
	7日	「輪楽い配達寄席」
	11日	東日本大震災犠牲者追悼式出席
	11日	釜石・大槌仏教会主催東日本大震災追悼
	11日	鎮魂の碑清掃・花壇整備、献花
	20日	LL奉仕活動
遠野LC	2月28日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
	8日	LCIF\$1000献金、LCIF\$20献金
	20日	障がい者施設支援リサイクル品の回収
釜石リアスLC	7日	ひかりの箱募金
	10日	東日本大震災復興チャリティコンサートVol.8
	11日	東日本大震災犠牲者追悼式
	14日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	11日	希望の灯分灯式
	11日	東日本大震災犠牲者追悼の祈り
	11日	東日本大震災追悼式参列
陸中山田LC	11日	東日本大震災犠牲者追悼式
	15日	キッズサッカー助成金贈呈
	15日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
	28日	LCIF献金 キャンペーン100
ライオネスクラブ		
西根LS	15日	特養老人ホーム「むらさき苑」にタオル寄贈
レオクラブ		
盛岡LEO	10日	カーリング体験
石鳥谷LEO	—	
北上LEO	28日	薬物乱用防止啓発セミナー開催
一関二高LEO	—	
釜石LEO	—	

会員動向

3月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入/再入/転入)
北 上 L C	高 橋 哲 文
和 賀 L C	高 橋 和 信
北 上 国 見 L C	蔡 和 嶽
	柴 田 祥 悦
	松 村 大 成
水 沢 中 央 L C	菊 池 千 都
一 関 中 央 L C	千 葉 洋 平
陸 前 高 田 L C	畠 山 睦 恵
	畠 山 正 彦
岩 泉 龍 泉 洞 L C	前 川 超

2019年3月 LCIF\$1000献金

クラブ名	会員氏名	MJF回数
二 戸 L C	清 川 悦 子	1
北 上 L C	小 瀬 川 泰 志	1
一 関 中 央 L C	熊 谷 雅 博	1
大 船 渡 L C	新 沼 学	1
遠 野 L C	豊 田 肇 彦	3

訃 報

北上国見LC

故 L. 笠井 政雄

享年82歳 (1976年11月入会)
チャーターメンバー
2019年3月18日ご逝去



滝沢LC

故 L. 熊谷 英雄

享年87歳 (1991年2月入会)
2019年3月28日ご逝去



お知らせ

●盛岡観武ライオンズクラブ

4月1日より事務局員交代
新事務局員 松ノ木 静江 (まつのき しずえ)

●遠野ライオンズクラブ

4月1日より事務局員交代
新事務局員 松田きみ子

●西根ライオンズクラブ

4月1日より事務局員交代
新事務局員 工藤なお子・工藤清子 (2人で担当)

アクティビティフォトグラフ



《表紙の写真》中の橋

1611（慶長16）年に完成された当時は上の橋同様擬宝珠がついており、盛岡城に登城する上級武士のみが通る橋だった。明治43（1910）年の大洪水で流され、県内で初の洋式の橋に架け替えられた。現在の橋は、昭和31（1956）年に完成、昭和54（1979）年に改修された鋼橋で、全長54m。盛岡の官庁街と商業地区を結ぶ中心街にありながら、一年を通して水鳥や川魚が集い、秋にはサケの遡上が見られる自然に溢れたスポットである。もりおか啄木・賢治青春館、プラザおでって、岩手銀行赤レンガ館、もりおか歴史文化館など、周辺には観光スポットも多い。

《編集後記》

まもなく岩手でも例年より早い桜の開花宣言かと思いきや、季節外れのなごり雪にみまわれた4月1日、ついに新元号「令和」が発表されました。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育ち、明日への希望を咲かせる」という願いが込められたということで、新たな時代へ向け背筋の伸びる思いです。今期の「ライオンいわて」も残すところ2回、年次大会の準備にも追われる中ですが、気を抜くことなく職務を全うしたいと思います。（編集長 L. 荒川 真知子）

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行日 2019年4月25日

発行人 L.猿舘 伸俊

編集長 L.荒川真知子（盛岡南LC）

副編集長 L.瀬戸美栄子（盛岡南LC） L.晴山 博邦（盛岡LC）

編集委員 L.星 憲治（盛岡不來方LC） L.石杜 茂（盛岡中津川LC）

L.瀨川 勉（盛岡観武LC） L.高見 幸江（盛岡南LC）

L.真田 早子（滝沢LC） L.高橋 英雄（玉山姫神LC）

印刷 株式会社文協印刷 〒020-0835 岩手県盛岡市津志田15-35-5

TEL：019-638-3901 FAX：019-638-3144

E-mail：order-bunkyo@mist.ocn.ne.jp

キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

TEL：019-621-1415 FAX：019-621-1420

E-mail：office-332bmorioka@almond.ocn.ne.jp